

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業
報告シート

島根県

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。
主担当課は最上段にご記入ください。

	担当課名	主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載	人数				計	
			事務職	保健師	リハ 専門職	その他		
介護 予防 事業	高齢者福祉課		3 ◎				3	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
						0		
モ デ ル 事 業	高齢者福祉課		3 ◎				3	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
						0		

②連携体制
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

	(連携先の例)	実施内容	課題	次年度への対応
庁内 連携	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防主担当課以外の課、保健所 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 保健担当職員（健康推進課・保健所）にモデル事業の研修会等に参加をしてもらい情報交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健部門との連携が必要と感じているが、具体的にどのように連携していくか明確なイメージが持てていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりの活動と連携を図るため、引き続き情報交換を行っていく。
職種 連携	<ul style="list-style-type: none"> 事務職、保健師、リハ職 その他 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地域リハビリテーション広域支援センター 職能団体 その他 		<ul style="list-style-type: none"> 多くの市町村でリハビリ専門職が配置されていないためリハビリテーションの視点から専門的な助言が受けられない。 	<ul style="list-style-type: none"> リハ職（三士会）と市町村職員を対象として研修会の開催。 市町村へのリハ職の派遣が円滑に進むよう関係団体と仕組み作りを行う。

③第6期介護保険事業支援計画
第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

<p>1 新しい総合事業への対応 (1) 市町村の取組みへの支援 (2) 介護予防の地域づくり (3) 介護予防・生活支援サービスの実施(二次予防の再編等) (4) 適切なサービス利用支援 (5) 一般介護予防事業の実施(一次予防の再編等) (6) リハビリ専門職の活用</p> <p>2 健康づくりとの連携 (1) 青壮年期からの介護予防 (2) 健康づくり活動との連携</p> <p>3 食べる機能の向上 (1) 食べる機能の重要性の共有 (2) 食べる機能の向上支援</p> <p>4 高齢者の積極的な社会参加 (1) 生涯現役意識の醸成 (2) 高齢者の生きがいづくりと社会参加活動の推進 について項目ごとに記載。</p>

2. 市町村支援の実施状況

①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
地域診断、戦略策定の支援	○意見交換会の開催 ・研修会に併せて、取組内容に対してアドバイザーから助言をもらえるよう意見交換会を開催				
研修会、現地支援	○研修会の開催 ・広域アドバイザーによる講演 ○現地支援の開催 ・広域アドバイザー等による講演会、実技指導、意見交換会の実施				
その他	○視察研修の実施（高知市） ・高知市でのプレゼン実演・意見交換会 ・サロン現地視察		○モデル町のフォローアップ ・モデル町の経過の確認をし、分析を行う。 ・モデル町や他県の取組成果について県内市町村へ情報提供を行う。	◎	

②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

実施日	研修会名称	対象者	参加市町村数
H26.7.28	第一回介護予防推進研修会	県内全市町村、包括支援センター、保険者、保健所の職員	15
H26.9.1	第二回介護予防推進研修会	県内全市町村、包括支援センター、保険者、保健所の職員	15

②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
第一回介護予防推進研修会	○年2回開催の市町村職員向け研修会をモデル事業研修会に位置付けて開催 ・住民主体の通いの場の必要性について広域アドバイザーから講演をしてもらい理解を深めた。		○介護予防研修会を開催 ・H26年度の県内モデル町の取組を整理し、その取組状況と、他県の取組状況を併せて情報提供することで県内市町村への波及を図る。	◎	
第二回介護予防推進研修会	○外部講師を招き研修会を開催 ・ニーズ調査の分析結果を用いた地域診断の方法や事業の評価方法について学んだ。				
情報提供	○「いきいき百歳体操」のDVDを送付（希望のあった自治体のみ送付）				

3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

【成果】

- 新たに立ち上げるのではなく、既存のサロンや自治会等の活動に対し、エビデンスのある「いきいき百歳体操」を紹介することで、これまでの仕組みを活かしながら体操を導入することができた。その結果、既存のサロンでは参加していなかった男性高齢者の参加につながった。
- 高知市へ視察に行ったことで効果的な動機付けの重要性について学ぶことができ、地域住民に対するプレゼンでは自分の町の数値やその分析を盛り込みながら説明を行うことでより効果的な動機付けができた。
- 津和野町では地域運動推進員、吉賀町では自治会の若手高齢者など中心となる人の協力を得ることで自主的な活動につなげることができた。
- 早くも口コミ効果でモデル事業に参加していない自治体や、モデル地区ではない地区住民から「いきいき百歳体操」に取り組んでみたいといった声が上げられている。

【感想】

- 本モデル事業については、コンセプトが示されていますが実際にモデル町にどのような取り組みをしてもらうのが良いのか非常に頭を悩ませました。
- 特に、島根県では既存のサロンが各地域に展開されており、そのサロンとの関わりをどのようにするのが戦略策定時の大きな課題でしたが、各町の職員の方は自分の町がどのような状況であるかしっかり把握されており、各町の地域性にあった特色のある取り組みとなりました。
- また、一年間取り組んだ結果、島根県内のモデル町で一定の効果が得られことは来年度の展開に向けて非常に良いPR材料になると思っています。
- 先進地である高知市に視察に行き、実際に取り組んでいる参加者の姿を見て、市役所職員の方とお話できたことで非常に有意義な視察となりました。

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業
報告シート

広島県

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。
主担当課は最上段にご記入ください。

	担当課名	主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載	人数				計	
			事務職	保健師	リハ 専門職	その他		
介護 予防 事業	健康福祉局高齢者支援課		1	1		1	3	←主担当に◎を選択してください。
					◎	0		
						0		
						0		
モ デ ル 事 業	健康福祉局高齢者支援課		1	1		1	3	←主担当に◎を選択してください。
					◎	0		
						0		
						0		

②連携体制
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

	(連携先の例)	実施内容	課題	次年度への対応
庁内 連携	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防主担当課以外の課、保健所 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険課と連携し、新たな総合事業の実施に向けた取組について、情報共有するとともに、実施に向けての働きかけを協働で行っている。 健康対策課及び保健所に対しては、介護予防事業の取組について情報提供し、研修会への参加及び市町介護予防事業への協力を依頼した。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康対策課及び保健所とは、介護予防事業に関して連携していなかったため、情報提供にとどまり、市町への地域診断や立上げへの支援について協議できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康対策課とともに、保健所による市町介護予防事業への支援体制を協議
職種 連携	<ul style="list-style-type: none"> 事務職、保健師、リハ職 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 課内に、保健師、管理栄養士がおり、密着アドバイザーが作業療法士であるため、専門職による協議ができている。 		<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度の専門職に加え、健康対策課の専門職種（保健師、歯科衛生士）との連携を検討
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地域リハビリテーション広域支援センター 職能団体 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 年度途中からの取組であったため、関係団体との直接の連携は行っていない。 県密着アドバイザーが地域リハビリテーション広域支援センター関係職員であるため、センターを通じた関係者への情報提供はできている。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体との情報共有等ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> リハ職等の職能団体と市町への派遣調整会議の開催 市町介護予防事業に関わるリハ職等を対象とした研修会の開催

③第6期介護保険事業支援計画

第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> ・「地域づくりによる介護予防の推進」として、①住民運営の通いの場の創設・拡充支援、②介護予防の普及啓発、③生活支援コーディネーター等との連携などを記載。 ・モデル事業の実施状況を基に、「住民運営の通いの場の立上げ・拡充の流れ」を例示。 ・目標設定 ①高齢者人口に占める通いの場の参加者の割合 ②住民運営の通いの場の数

2. 市町村支援の実施状況

①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
地域診断、戦略策定の支援	①モデル市町事前打ち合わせ（モデル事業の事業説明等） ②現地ヒアリングの実施（ワークシートを活用して、地域診断の実施状況及びモデル事業の取組内容、拡充方法を協議）	・住民運営の通いの場の把握が十分できていない。 ・モデル事業の担当課が介護予防事業担当課と健康づくり担当課があり、情報の共有や事業連携が十分できていない部分があり、全体的な戦略策定が描けていない。	【H26モデル市町】 ①平成27年3月までの事業の実績確認 ②通いの場の拡充へ向けた戦略策定の再検討 【H27市町支援事業】 ・H26実施内容と同様	◎	・第6期介護保険事業計画の位置づけとの整合性
研修会、現地支援	①研修会の実施（広域アドバイザーによる講演） ②第1回モデル市町担当者会議（モデル事業の実施に向けた意見交換等） ③第2回モデル市町担当者会議（現地支援：モデル事業を基にした拡充に向けた意見交換等）	・いきいき百歳体操を実施する市町がなかったため、現地へ出向いた現地支援につながらなかった。 ・市町ごとの個別課題に対する支援が十分行えなかった。	・全市町及び県関係機関、関係団体を対象とした研修会の実施。（広域アドバイザーの講演、平成26年度モデル市町の実施報告） ・全モデル市町への密着アドバイザーの派遣	◎	・アドバイザーの専門分野と市町支援内容のマッチング
その他	○総合事業への移行支援（予防給付部分は介護保険課担当）	・総合事業の担当課が異なるため、情報共有はできているが、共同での移行支援は実施できていない。	・平成28年4月に向けた総合事業への移行支援	◎	・介護保険課との庁内連携 ・市町内での介護保険担当課と介護予防事業担当課との事業調整

②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

実施日	研修会名称	対象者	参加市町村数
H26.7.3	平成26年度介護予防事業市町等担当者会議（会議の一部をモデル事業研修会として実施）	市町介護予防事業担当者 県厚生環境事務所・保健所介護保険及び健康づくり担当者 県立広島大学人間文化学部健康科学科 准教授・学生 介護保険課及び健康対策課職員	23

②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
平成26年度第2回介護予防事業市町等担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催 ①全国会議の報告（広島県以外のモデル事業の取組等） ②平成26年度モデル事業の実施報告（3市町） ③グループワーク「住民運営の通いの場の立上げについて」 	（3月11日実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業市町等担当者会議（年2回）を開催予定。 	○	
介護予防事業の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県統一評価項目による介護予防事業評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業の変更に伴い評価項目、実施方法等の変更が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民運営の通いの場の評価方法の検討 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場での評価実施時の専門職の派遣
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき百歳体操等の情報提供（会議資料、DVD等の提供） 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供後の取組状況の確認ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の要望によるいきいき百歳体操の情報提供 	△	

3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

○モデル事業を実施した成果

- ・モデル市町においては、地域住民と介護予防・地域づくりについて協議する場を持つことができ、地域住民と一緒に事業内容を計画する段階から、住民と一緒に取組むことができた。
- ・すでに、独自の立上げを実施しているモデル市町においては、拡充に向けた媒体作成や評価などの取組が行われたので、その他のモデル市町の拡充の取組につながった。
- ・現地でのヒアリング（意見交換）を行ったことにより、具体的な事業内容や資料を確認でき、市町の実施体制や長期的な計画作成に向けた支援のポイントが具体的に把握できた。
- ・さまざまな地域において、モデル事業を実施できたため、各市町の立上げ・拡充の取組を踏まえた、住民運営の通いの場の立上げ・充実の流れ図が作成できた。
- ・県健康増進課及び保健所保健課と介護予防事業で連携するきっかけづくりができた。

○モデル事業を行った感想

- ・モデル市町を通じて、住民の声を聞き、また、広域アドバイザーの助言により、住民だけでも通いの場を維持できることを実感できた。
- ・モデル事業実施市町のほか、住民が主体となって行っている通いの場を実際に見学し、住民の力を感じた。

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業
報告シート

山口県

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。
主担当課は最上段にご記入ください。

	担当課名	主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載	人数				計	
			事務職	保健師	リハ 専門職	その他		
介護 予 防 事 業	長寿社会課		2 ◎				2	←主担当に◎を選択してください。
							0	
							0	
							0	
モ デ ル 事 業	長寿社会課		2 ◎				2	←主担当に◎を選択してください。
							0	
							0	
							0	

②連携体制
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

	(連携先の例)	実施内容	課題	次年度への対応
庁内 連携	・介護予防主担当課以外の課、保健所 ・その他	-	-	-
職種 連携	・事務職、保健師、リハ職 ・その他	担当以外の事務職もモデル事業について関わり、研修や現地支援等を進めた。	急遽当モデル事業を実施することとなったため、十分な体制が整えることができなかったこと。	来年度は県として予算を確保し、推進していく予定。
その他	・地域リハビリテーション広域支援センター ・職能団体 ・その他	県理学療法士会との介護予防に関する協力を依頼。	今年度は県としてリハ職がモデル事業に何かしら参画していただくことが難しかったので、来年度から関わっていただくことが課題。	地域医療介護総合確保基金等を活用しながら、職能団体と共に介護予防を推進する。

③第6期介護保険事業支援計画
第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

介護予防に効果のある体操など、住民主体で行う場を充実するために、市町による通いの場の立ち上げ・育成・拡大の取組を促進します。

2. 市町村支援の実施状況

①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
地域診断、戦略策定の支援	地域診断・戦略策定を進めていく上で、モデル事業の方向性の理解や共通認識を持つことを目的とした担当者会議を開催。（会議で地域診断・戦略策定の方向性の説明を実施）	地域診断が単なる情報整理しかになっておらず、本当の分析的効果が発揮されていないため、必要性についての疑問があった。今後の取扱いを含めて検討。	平成26年度同様、モデル市町となる担当者を集めた会議を開催し、地域診断・戦略策定の方法等を含めた話し合いの場を開催。	○	地域診断の在り方。
研修会、現地支援	戦略策定及び、住民運営の通いの場の本格育成を目的とした研修会及び現地支援検討会の開催。	今年度は現地支援の方法は検討会がもっとも効果的であるとモデル市並びにアドバイザーとの協議の結果決まったが、今後は必要に応じて先進地視察や実際の現地に出向いての支援等を検討する必要あり。	研修会及び現地支援を実施	◎	左記の今後の課題と同様
その他			リハ職との連携を含めたモデル事業の推進	○	県理学療法士会や県作業療法士会との連携

②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

実施日	研修会名称	対象者	参加市町村数

②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
	モデル事業の研修会や現地支援検討会の際に傍聴可の取扱いで、地域づくりによる介護予防推進を図った。	傍聴のみならず、実際に主体的に参加していたくような開催方法を検討。	地域づくりによる介護予防推進支援事業の推進・普及啓発	◎	今年度の成果等を報告する機会や場や、来年度実施するモデル市町の現状等を知っていただく機会を設ける。

3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

<p>「住民運営による通いの場の充実」と初めて見聞きしたときは、本当にこのような取組を山口県においてできるのかという心配からスタート。モデル市を集めた担当者会議でも、住民が自主的に・・・補助等なしに・・・など今までの取組とは違い、「住民を信じること」が必要な取組に頭を悩ませる場面もしばしば。しかしながら、アドバイザーさんの支援やモデル市の担当者の熱意のある取組（アプローチ）により、実際にいきいき百才体操を通して立ち上げ・実施して行くことで、取り組んだ住民からもう少し継続してみようという声や、体力の向上につながったという結果となった。</p> <p>今モデル事業を通して、非常にこの取組の効果や重要性を知ることができ、県としても今後も積極的に住民主体による介護予防を推進し、今モデル市以外の市町に対しても実施及び普及啓発を行い、できれば県内全市町においてもこの取組が広まるように取り組んでいきたい。</p>

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業
報告シート

高知県

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。
主担当課は最上段にご記入ください。

	担当課名	主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載	人数				計	
			事務職	保健師	リハ 専門職	その他		
介護 予防 事業	高齢者福祉課			2 ◎			2	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
モ デ ル 事 業	高齢者福祉課			2 ◎			2	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		

②連携体制
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

	(連携先の例)	実施内容	課題	次年度への対応
庁内 連携	・介護予防主担当課以外の課、保健所 ・その他	モデル市管轄福祉保健所とともに、研修会・現地支援において、モデル市を含む管内市町村への助言等の支援を行った。	福祉保健所が、介護予防に関してもより主体的に市町村支援に関わる必要がある。	より主体的に支援ができるよう、情報提供等行う。
職種 連携	・事務職、保健師、リハ職 ・その他	高知市の理学療法士の協力で、モデル市職員に対し、体操のそれぞれの動きのポイント指導など、技術的な支援をいただいた。	リハ職がいる市町村は少ないため、事業に関してリハ職の指導を得ることが困難。	福祉保健所や病院等のリハ職の協力を得ることができるよう、調整・研修の実施が必要。
その他	・地域リハビリテーション広域支援センター ・職能団体 ・その他			

③第6期介護保険事業支援計画
第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

各市町村で地域の実情に応じた効果的かつ効率的なサービスの提供が可能となるよう、以下の取組を実施します。
○サービス拠点整備への支援、○高齢者等の参加による新たな担い手養成への支援、○セミナーの開催とアドバイザーの派遣、○リハビリテーションの専門職等の広域派遣調整、○地域で活動の中心となるリーダーの活動への支援、○市町村の地域の実情に応じた効果的なサービス提供に向けた支援

2. 市町村支援の実施状況

①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
地域診断、戦略策定の支援	<ul style="list-style-type: none"> 例年実施している地域支援事業のヒアリングにおいて使用しているシートを活用し、情報収集を行った。 現状把握・課題整理を行うためのシートを作成し、研修会において市町村関係者で話し合いを行った。 	今後も関係機関が集まり、目指すべき方向性等について話し合い、共有する機会を持つことが必要。	26年度に立ち上がった通いの場の経過を確認しながら、少しずつ通いの場や地域づくりを展開していくことができるよう、適宜相談を受ける等、支援する。	○	
研修会、現地支援	<p>【研修会】モデル市を含む福祉保健所管内市町村を対象として、地域づくりによる介護予防の必要性についての講演、現状把握・課題整理のためのグループワークを実施。</p> <p>【現地支援】理学療法士によるモデル市職員を対象とした技術研修に加え、地区での説明会を行った。</p>	事業を継続していくにあたっては、適宜リハ職の介入が必要だが、モデル市には職員にリハ職がない。	病院等のリハ職の協力を得ることで、市町村では確保が困難なリハ職の専門的視点を、市町村事業に取り入れる。	○	<ul style="list-style-type: none"> 病院等の所属長の理解を得る必要がある 派遣体制の構築
その他					

②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

実施日	研修会名称	対象者	参加市町村数
平成26年5月16日	第1回新しい介護予防のしくみづくり（新総合事業）セミナー	市町村、地域包括支援センター職員等	29
平成26年6月11日	第2回新しい介護予防のしくみづくり（新総合事業）セミナー	市町村、地域包括支援センター職員等	23
平成26年7月28日	第3回新しい介護予防のしくみづくり（新総合事業）セミナー	市町村、地域包括支援センター職員等	27
平成26年10月8日	第4回新しい介護予防のしくみづくり（新総合事業）セミナー	市町村、地域包括支援センター職員等	27
平成27年2月18日	第5回新しい介護予防のしくみづくり（新総合事業）セミナー	市町村、地域包括支援センター、社会福祉協議会職員等	29

②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
新しい介護予防のしくみづくりセミナー	全5回のセミナーを実施。介護保険制度改革と市町村の役割についての講演や、わが町の現状・課題分析、先進自治体（保険者・事業所）の取組紹介を行い、各回、市町村や圏域別での意見交換等を併せて実施した。	地域づくりの考え方やリハ職の活用等について今後も研修会等を行い、各市町村で総合事業への移行が円滑に進むよう支援が必要。	総合事業に取り組む県内自治体の取組紹介等、引き続き情報提供や研修会を開催する。	◎	市町村によって、研修会への参加状況や取組の進捗状況は様々であり、認識・理解度にも差がある。

3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> モデル市は、以前から介護予防の取組を強化したいという担当者の思いはあったものの、事業の実施には結びついていなかった。今回モデル事業を契機に、住民主体で市の介護予防の取組を見直すことができた。 住民の力を信じるという、できそうではなかった一歩を踏み出したことで、住民にとって介護予防・地域づくりにつながる良い効果があっただけでなく、行政にとっても、住民の持つ力を知ることができ、仕事の喜び、やる気につながった。 モデル市が1箇所だったことで、広域アドバイザーの高知市がモデル市に密に関わることができ、モデル市にとって高知市が、これまでよりも相談しやすい存在となった。 モデル市における効果や、他県の状況等を聞くことで、改めて地域づくりによる介護予防の重要性を感じる事ができた。
